

Canon EF LENS

EF16-35mm f/2.8L III USM



 **ULTRASONIC**

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF16-35mm F2.8L III USMは、EOSカメラ用の超広角ズームレンズです。

- USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

カメラのファームウェアについて

- 本レンズをご使用になる場合は、カメラの最新ファームウェアをキヤノンのホームページで確認してください。カメラのファームウェアのバージョンが最新でない場合は、最新のファームウェアにアップデートしてください。
- ファームウェアのアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。

本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や損害の発生を防ぐためにお守りください。

警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。
特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- **レンズキャップを外したまま、レンズまたはレンズを付けたカメラを日光の下に放置しないでください。**太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

注意 傷害を負う可能性がある内容です。

- **製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。**製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。
- **製品の内部には手を入れないでください。**けがの原因となります。

注意 物的損害を負う可能性がある内容です。

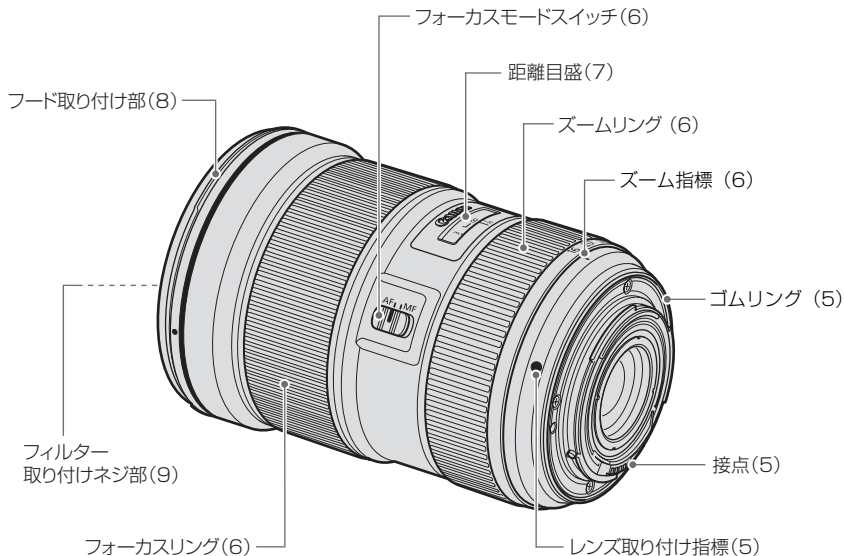
- **直射日光下の車の中など、高温になるところにレンズを放置しないでください。**故障の原因となることがあります。

一般的なご注意

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- カメラの使用説明書の取り扱いに関する記載もご覧ください。

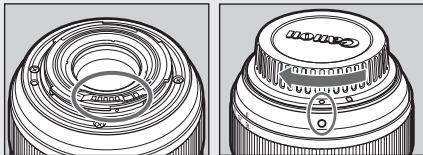
各部の名称



● (**) の ** 部は参照ページを示しています。

1. レンズの着脱

カメラにレンズを着脱する方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。

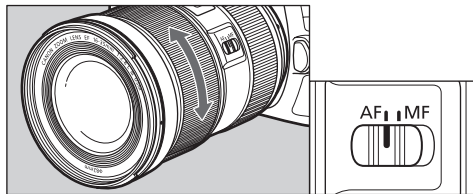


- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、レンズキャップとダストキャップを付けてください。ダストキャップの取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。



このレンズでは、防塵・防滴性能を向上させるため、マウント部にゴムリングを採用しています。レンズの着脱を繰り返すと、カメラ本体のマウントの外周部分にゴムリングの細かい擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。なお、ゴムリングはキャノンサービスセンターで交換できます。(有料)


2. フォーカスモードの設定



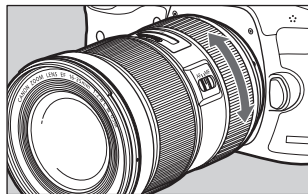
オートフォーカス(AF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。

マニュアルフォーカス(MF)で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを手で回してピントを合わせます。


フォーカスリングは、フォーカスモードに関係なくいつでも動かせます。

 カメラのAFモードまたはAF動作がONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッターボタンを半押しした状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)

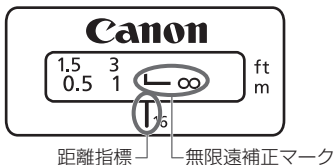
3. ズーミング



ズームリングを手で回してズーミングします。

 ピント合わせはズーミングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズーミングすると、ピント誤差が生じることがあります。

4. 無限遠補正マーク

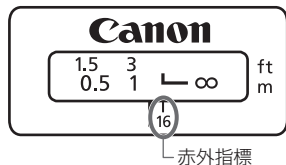


温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠（∞）位置に余裕を持たせてあります。常温の無限遠位置は、距離目盛のLマークの縦線と距離指標が合うところです。

無限遠の被写体にMFで正確にピントを合わせる場合は、ファインダーまたは液晶モニターの拡大画像*で確認しながらフォーカスリングを回してください。

* ライブビュー撮影可能なカメラの場合

5. 赤外指標



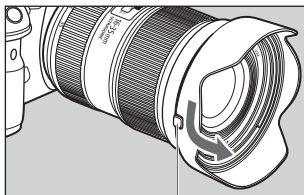
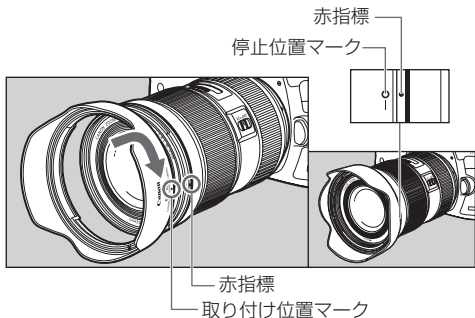
赤外指標は、白黒赤外フィルム使用時にピントを補正するためのマークです。MFでのピント調整後に、距離指標が指し示す距離目盛の位置を、赤外指標の位置まで補正量としてずらして撮影します。

赤外フィルムが使用できないEOSカメラがあります。お手持ちのEOSカメラの使用説明書で確認してください。

- 赤外指標は800nmの波長が基準になっています。
- 焦点距離によって補正量が異なります（補正量は、ワイド側が大きく、テレ側が小さくなっています）。焦点距離16（mm）と表示されている赤外指標を目安に手で補正を行ってください。
- 赤外フィルムに記載されている注意事項も必ずお読みください。
- 赤フィルターを使用してください。

6. フード

レンズフードEW-88Dは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



ボタン

●取り付け

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標をあわせ、赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。

●取り外し

フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズ先端にある赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外してください。

収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。



- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元付近を持って回してください。フードの先端付近を持つと変形して回らなくなることがあります。

7. フィルター（別売）


フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- 防塵・防滴性能を発揮させるため、キヤノン PROTECT フィルター（82mm）を装着してください。
- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター PL-C B（82mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外した状態で行ってください。

8. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲(mm)		撮影倍率(倍)	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	16mm	使用できません			
	35mm	219	265	0.65	0.36
EF25 II	16mm	使用できません			
	35mm	214	229	1.14	0.80

 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

焦点距離・明るさ	16-35mm F2.8
レンズ構成	11群16枚
最小絞り	F22
画角	対角 108° 10' ~ 63°、垂直 74° 10' ~ 38°、水平 98° ~ 54°
最短撮影距離	0.28m
最大撮影倍率	0.25倍 (35mm時)
画界	約196×295 ~ 96×143mm (0.28m時)
フィルター径	82mm
最大径×長さ	88.5×127.5mm
質量	約790g
フード	EW-88D
レンズキャップ	E-82 II
ケース	LP1222

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+24.0mmになります。
- 大きさ・質量表示は本体のみの値です。
- エクステンダーは使用できません。またクローズアップレンズは使用可能なサイズがありません。
- 絞り値は、カメラ側で設定します。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日/土/日/祝〉9:00～18:00

(1/1～3は休ませていただきます)

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9556をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon